

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

事業の成果

平成 29 年度は、例年活動の基軸としてきた例会活動を一度も欠かすことなく実施することができた上に、11 月に佐賀市で開催された「アジア湿地シンポジウム 2017 (AWS2017)」に積極的に参加し、国際的な活動にまで場を広げることができた 1 年でした。

さらに年度末、3 月 24、25 の両日に八女市星野村に出かけて実施した「出張例会」は、内に閉じこもりがちな活動とは異質の、刺激的な交流事業でした。また、昨年度に引き続き 2017 年度（一財）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業に認められ、資金的支援を受けて「ノリ生産と販売の現場から有明海の食と環境を考える事業」を実施することができました。さらに、今年度も NPO 法人嘉瀬川交流軸との共同事業として「カキ礁復元用の竹切り作業」「有明海での竹立て作業」を行いました。昨年度に引き続き、平成 29 年度も有明海に関連する他の組織との共同事業が多く実施できた年だと言えます。

①有明海の魅力を探り、広報する活動

定例会

「有明海に関する知識と知恵を共有化し、有明海と共生する暮らし方を探る」活動の中心として毎月 1 回、合計 12 回の例会を欠かすことなく実施することが出来ました。会員に講師を推薦して戴く方式にしてからは、様々な分野からの話題提供があり、新たな知的興奮を味わうことができています。

設立目的に掲げた「有明海をぐるっとネットワーク化する」を実現するため、今年度も出張例会を企画し、年度末ぎりぎりになって、矢部川流域で活動する山口徳雄会員の仲介により、八女市星野村交流施設「ていちゃんげ」において NPO 法人がんばりよるよ星野村（代表山口聖一氏）との「海と山の交流会」を開催することができました。

②有明海の新たな魅力創生に寄与する活動

アジア湿地シンポジウム 2017 (AWS2017) への参加

11 月 7 日から 12 日までの 6 日間、佐賀市において開催された「アジア湿地シンポジウム 2017 (AWS2017)」に積極的に参加し、重要な役割を果たすことができました。「アジア湿地シンポジウム現地実行委員会」の代表を法人の代表理事荒牧が務め、シンポジウムの企画運営の中核を担いました。加えて、東よか干潟環境保全ワイズユース検討会、鹿島市ラムサール推進協議会、荒尾干潟保全・賢明利活用協議会、佐賀市、鹿島市、荒尾市で結成した現地作業部会にも参加し、シンポジウム 3 日目に計画したエクスカッション（佐賀コース、鹿島コース、荒尾コース）の実施と、有明海の生き物や歴史文化、ラムサール登録 3 湿地などを紹介する日本語英語併記のブックレット「有明海 Gatabook ぐるりんつながる。うみ・がた・ひと」の刊行を行うことができました。また、当法人からもポスターセッションに参加して活動をアピールするとともに、会場スタッフとして、運営に協力することができました。1 年半に及ぶ準備活動を通して東よか干潟環境保全ワイズユース検討会、鹿島市ラムサール推進協議会、荒尾干潟保全・賢明利活用協議会、

荒尾市、佐賀市、鹿島市の行政担当者間の連携は一層深まり、3つの干潟が連携して取り組む事業が増えています。ラムサール登録を契機に有明海沿岸域の横の連携が強まりつつあります。その一翼を当法人が担えたことは今年度の大きな成果でした。

有明海にはラムサール登録の資格を有する湿地は他にも多くあります。これらの地域の民間団体、行政担当者との交流を深めることで、有明海全域をラムサール条約湿地に登録する目標に一歩ずつ進んでいきたいと考えています。

2017年度（一財）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業の実施

幸い今年度も「ノリ生産の現場から有明海の食と環境を考える」の事業名で申請した事業が、セブンイレブン記念財団環境市民活動助成を受けることができ、シンポジウムと海苔摘み体験学習会の2つの事業を実施することができました。

①海苔消費に関する学習会「コンビニおにぎりが有明海苔を救った」

口溶けが柔らかい有明海苔は、おにぎりに直接巻いて食べるのには不向きでした。海苔とおにぎりをラップで分けて包装する技術が開発されて、海苔消費の6割を超える業務用に使用できるようになり、いまではコンビニおにぎりが、有明海苔消費の基盤をしっかりと支えています。有明海苔の流通と消費の現状について理解を深めました。関係者や市民の参加を得て有意義な学習会を開催することができました。

②ノリの生産現場見学・手すき海苔実習・ノリ生産と環境に関する学習会

冷凍網の漁獲が一段落した2月18日（日）、摘み取り現場と板ノリ加工現場の見学と、手すき海苔実習、東北宮城海苔と有明海苔の食味の違い検査および「有明海ノリの生産と環境」に関する学習会を行いました。親子連れの一般参加者、マスコミ関係者、有明海ぐるりんネット会員が参加し、佐賀県有明海漁業協同組合佐賀市支所の漁師さんの案内で、普段見ることのない過酷な労働の一端を垣間見、有明海苔の美味しさとともにその貴重さを感じることができました。

カキ礁復元の取組み事業

NPO法人嘉瀬川交流軸とNPO法人有明海再生機構との共同事業で今年度も「カキ礁復元用の竹切り出し作業」「有明海カキ礁復元竹立て作業」を行いました。有明海の環境悪化の象徴的な事象である「貧酸素水塊の増加」と「底質悪化」を改善する施策として「二枚貝の復活・増加」が有効であることは、科学的に証明されています。有明海ぐるりんネットは竹切り作業に2回、竹たて作業に2回参加しました。

情報発信

平成17年度の創刊号以来、毎年1号ずつ発刊してきた冊子「有明海」は休刊しましたが、これまでに蓄積してきたコンテンツを、アジア湿地シンポジウム2017（AWS2017）で刊行したブックレットに活かすことができました。日本語英語併記ができたことで、有明海の自然と文化を国際的に紹介できたことは今年度の大きな成果でした。また、ホームページを常に更新できたことも大きな成果と言えます。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額(千円)
① 有明海に関連した環境教育及び生涯学習に関する作業	定例会					
	川村嘉広氏 (元有明水産振興センター長) 有明海苔について	4月13日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 18	69
	栗山佳寛氏 (佐賀市建設部河川砂防課水問題対策室長) 佐賀市が取り組む排水対策について 年次総会”	5月18日 (木)18:00 ～19:30 19:30～	MIZ・P-CSR 研究所	4	会員 参加 22	
	宮津哲郎氏 (佐賀市観光振興課 観光・コンベンション推進室長) 将来の365日観光を支える佐賀市の魅力+インバウンド戦略	6月8日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 12	
	大宅公一郎氏 (株)親和コンサルタント所属 既存のため池を活用した洪水減災対策	7月13日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 18	
	川上義幸氏 (九州重粒子線施設管理株式会社代表取締役) 重粒子線がん治療の実態と今後の展望	8月24日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 16	
	七田忠昭氏 (佐賀城本丸歴史館長) 有明海が育んだ弥生の先進文化	9月14日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 13	
	三村龍一氏 (西日本新聞社佐賀総局長) 衆議院選挙情勢と見通し	10月12日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 14	
	馬場範雪氏 (佐賀市副市長) ラムサールブランド「シギの恩返し米」について	11月16日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 13	
	荒牧軍治氏 (AWS2017 現地実行委員長) アジア湿地シンポジウム2017in佐賀を振り返る	12月21日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 12	

	服部大次郎氏 (佐賀市在住 画家) 「記憶の風景」「さかの 伝説」を通して見える 佐賀平野と有明海	1月11日 (木)18:00 ～19:30	佐賀市市民 活動プラザ 会議室	2	会員 参加 15	
	阿南正義氏 (株)戸上電機製作所 上席執行役員) (株)戸上電機のこれま での歩みと今後の展望	2月8日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 15	
	山口聖一氏 (NPO 法人がんばりよる よ星野村 代表) 山と海の交流会	3月24日 (木)16:00 ～20:00	出張例会 八女市星野 村交流施設 「ていちゃ んげ」	3	会員 県内・県外 参加 25	
② 有明海沿岸 地域の地域連 携及び地域 づくりに関 連する事業	鹿島ガタリンピック イベント出展 (展示・試食会)	6月11日 (日)	鹿島市 ガタリンピ ック会場 特設テント	12	県内、県外 (不特定)	76
	カキ礁復活を支援する ための竹ぼうきを作成 イベント (2回) (嘉瀬川交流軸共催)	6月10日 (土) 7月9日 (日)	佐賀市 さが水もの がたり館周 辺	5	県内、県外 参加 30名	0
	カキ礁復活 現場竹立て作業 (嘉瀬川交流軸共催)	7月2日 (日) 7月31日 (月)	佐賀有明海 漁協久保田 支所海域	5	県内、県外 参加 30名	0
	アジア湿地学会 2017 In 佐賀 開催協力 受付手伝い 事務作業手伝い	11月7日 ～12日	佐賀市 グランデ はがくれ	5	国内外	0
	海苔消費に関する 学習会 現場見学会 (セブンイレブン支援 事業)	9月3日 (日) 2月18日 (日)	活動プラザ 大会議室 嘉瀬地区漁 場・佐賀市支 所	15	県内、県外 参加 45名 県内、県外 参加 55名	440
	アジア湿地学会 2017 出展 ポスター発表 (日本語・英語)	11月7日 (火)	佐賀市 グランデ はがくれ	3	国内外 参加 500名	79
③ 有明海の 魅力発信広報 活動	公式サイト更新作業 (平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月)	4月～		2		60